

2016.3

編集発行人・吉田隆司

毎月1回、1日発行

定価1部100円/1年1000円(送共)
郵便振替 東京00100-0-38184

〒112-0004東京都文京区後楽1-5-3
TEL. 03-3814-3591
FAX. 03-3814-3590

Website: <http://www.rizhong.org/>
E-mail: info@rizhong.org



2016.2.2 本科・日本語科合同弁論大会が開催されました。

A先生の新語コーナー



Shuāng shíyī “双十一”

11月11日。「1」が並ぶことから中国では「独身者の日」と呼ばれる。この日は中国のネット通販で売り上げが最も伸びる1日だ。最大手のアリババグループが2009年傘下のサイト「天猫」でネット商戦を仕掛けたのが始まりとされる。昨年の「双十一」商戦で、アリババはグローバル化を前面に出し、海外から日本、米国などの5000余りの有名ブランドが参加した。天猫サイトでの取引額は1日だけで912億元(約1兆8000億円)に達したという。(A)

私の中国語学習法

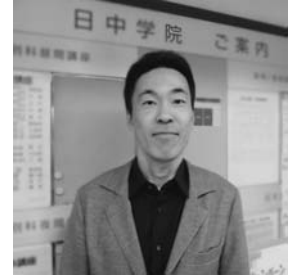
第一回 中西真同学

1月号では、張泰雲先生の日本語学習法を取り上げましたが、今回は、本科研究科を卒業した、中西真同学の中国語学習法を取り上げます。本科卒業後中国語を使って仕事をするなどお話し頂きました。これから中国語を使ったお仕事をしたい!とお考えの方はもちろん、日々の学習についても参考になればと思っています。

中西真同学 ZhōngxīZhēn

2015年3月本科研究科卒

2015年12月初の訳著『日本人には決して書けない中国発展のメカニズム』を出版。



中国語を学ぶきっかけ

子供の頃からカンフー映画、特にブルース・リーが大好きでファンクラブに入っていました。その影響でしょうか、中国、どちらかと言えば中国語そのものに興味を持っていました。当時も参考書を買って勉強しようとしたのですが、当時の参考書はCD等もなく片仮名で発音を書いてあるものばかりでした。そのため、独学がうまくいかないと感じながら、勉強をしたりしなかったりしていました。その後も継続的ではないのですが、中国語検定の本を買ったりして、気が向いたときに勉強するといった状況が続けていました。それは社会人になっても続けていました。しかしどうしても、翻訳家になりたいと強く思うようになり会社を退職して2013年4月に本科2年に入学しました。本来は、研究科への入学を希望していました。仕事を辞め収入もありませんでしたし、出来るだけ短期間で中国語を身につけたいと考えていました。本科に入る前には、中国人家庭教師や、他

の所で翻訳者養成講座なども短期間受けたことがありましたが、研究科は合格しませんでした。世の中は甘くないぞと思いましたね。その時には、もう日中学院へ通うつもりで、すでに学院の側に引越してしまっていたから、どうしたものか考えていたのですが、2回目の受験の後本科2年から勉強するように先生に勧められ、この際基礎からやり直すつもりで入学を決めました。

日中学院に決めた理由の一つは、名前からしてガッツリ中国語の勉強ができそうな気がしたからです。またもう一つは、平日の月曜日から金曜日までみっちりカリキュラムが組まれているからであり、それとても気に入りました。

日中学院には、中国人と日本人の先生がいてそれがすごく良いと思いましたね。中国語を勉強するならネイティブの先生につきたいと思いますよね。語感、発音、文化や、「了」の使い方もそうです。ネイティブの先生ならこのことを学べることもたくさんあります。日本人の先生は、日本人が分かり難いことについて

て、同じ悩みを超えてきているから、その悩みにきちんと応えてくれます。発音にしても、中国人にとっては出来て当たり前なのですが、日本人の学生のために頭で考えて理解できるように舌の位置などを具体的に細かく教えてくれるので非常に分かりやすかったです。そういう意味で中国人、日本人両方の先生に学べたのが良かったと思っています。

また本科は、中国人留学生と交流する機会がたくさんあります。最初は正直言って、「自分は勉強するために入学したんだ、仕事が出来るように早く中国語を身につけたい」という焦りが強く、交流活動の時間があるならその分勉強したいと考えていました。しかし交流活動に参加していくうちに、言葉は人、生活、文化などと切り離すことが出来ないと思うようになりました。日本語科生との交流活動を通して、様々な場面で使われる生きた中国語を実践を通して学ぶことができ、交流活動に参加できたことを感謝しています。

中国語を勉強する生活

本科に通っていた時は、午前中は本科、その後6時頃までは学校で自習し、家では10時頃まで勉強していました。1日10時間程度です。本科は、課題も多く予習をするだけで復習する余裕など無かったくらいですね。それは評判通りでした。でも、本屋で見かけたテキストなど自分で勉強してみたいものがあると、宿題の合間に息抜きの意味で取り組みました。私は聴き取りが大の苦手で、無意識に読み書きの勉強に偏ってしまうのです。ある時、吉田先生に聴き取りも勉強するよう勧められ、少し聴き取りにも取り組むようにしました。聴き取りの教材は、授業で使ったものや、授業を録音させて頂いたものなどを使用しました。

2015年3月に研究科を卒業してからは、まだ仕事が無く1日中時間がありました。このままだと、せっかく勉強した中国語力が落ちる一方だと思い、自分で学習計画表を作りました。興味のある事柄など全部書き出しました。毎日取り取り組むものから、息抜きのやるものまで様々です。在学中は予習に追われて復習をする時間が無かったので、基本的に授業の復習と自分で買ってきたテキストです。その他は、少し硬い言葉の新聞や論文調の勉強ということで、NHKのworld Chineseというサイトから中国語の記事を選び出し、同じ内容

をNHKの日本語版のサイトから見つけて、ノートに並べて貼ります。同じNHKだから、同じような書き方をしているだろうなど。そこで、構文を見たり、新出単語を見たりします。これは定期的に、時間がある時に在学中から続けています。また、本科を卒業してしまうと、中国語を聴く機会がなくなってしまうので、インターネットラジオで北京放送を常にかけ流しておきました。内容などはあまり分からなくても中国語の抑揚とか、会話のリズムなどが身に付くような気がします。なかなか話す機会も多くは無いので、自宅の近所の中華料理店の日本語が話せない中国人の店員さんと、お喋りしたりしています。他には、今仕事で必要に迫られてしているのですが、中国のインターネットサイトの「百度baidu」の記事は、格調高い書き方をしていたり、少しでも読めた書き方もしていたり、成語もあつたりするので、それを読む練習をしておく、仕事でも役に立つかなと思って翻訳しています。その他中国人の友人や先生からいただいたメール等の会話や表現を全部集めています。色々な表現を集めて、次はこのように使おうとか考えています。教材は無限にあります。

本科研究科を卒業してから

今は、昼間は中国特許の抄録をチェックする仕事をしています。そして、帰宅後は2冊目の本の翻訳の依頼を頂いているので、それを訳しています。その合間に、翻訳の通信教育や日中学院の三瀧先生の講座も受講していて、課題提出があるので、それもしています。どちらかと言えば読み書きだけですけれどね。

私がしているのは、中国特許の抄録という特許の概要説明のような部分を中国人が日本語に翻訳したものを、ネイティブの日本人が読んでおかしな日本語ではないかをチェックする仕事です。この仕事はインターネットで探しました。特許の文体は、構文も独特で修飾文がとて長く、単語も専門用語になります。専門用語は、もう地道に調べるしかありません。ですから、この仕事を始めるまで、専門書を読むなどの準備をしました。調べてどうしてもわからない所などは、同じ仕事をしている中国人スタッフに聞くなどしています。なぜ特許関係の仕事をしているのかと言えば、中国語を勉強する前に就いていた仕事は、広く浅くですが技術の分野に携わるもの

だったので、その時の経験が今の仕事に役立つと思い、この仕事にしました。特許は、様々な技術が出てきますよね。特許の翻訳は、中国語のレベルはもとより、日本語での知識も非常に必要だと思っています。仕事を始める時に、自分の得意分野を申告しましたが、自分は、多くの事に興味があるので様々な分野のチェックを引き受けています。そうすると、当然知らない言葉なども出てきます。それを自分で調べて行けば知識も深まります。

中国が特許を意識し、体制を強化し始めたのが概ね15年ほど前のようです。今は、様々なものについて特許申請されています。中国が沢山の特許を申請してきており、日本の技術を守る意味でも、中国に進出するという意味でも必要になるため、日本が中国の特許を強く意識し始めたのも最近の様です。そのため、これからどんどん発展する分野だと思っています。

初めて翻訳した書籍が2015年12月に発行になりました。『日本人には決して書けない中国発展のメカニズム』と言う本です。中国語原文80頁ほどの内容で、あまり厚い本ではありませんでしたが、初めて翻訳してみて大変だと思ったのは、宿題などとは違い、長い文章を時間をかけて翻訳することです。時間をかけるうちに、同じ単語でも日によって訳し方が違ってしまふ場合があります。そうすると統一感のない翻訳になってしまいます。そのため、長い文を通して、語調なども含めて統一感を持たせることを考えるのが、初めての経験でした。途中からパソコンで訳語リストを作成し、翻訳がバラバラにならないようにしました。

先日、特許翻訳者が集まる会合に出席した際に、翻訳者同士で雑談した際に、皆さんやはり同じような悩みを抱えていました。ある人は、パソコンのデータ管理ソフトを使い、独自の翻訳語を登録して、自分の翻訳パターンなどを管理し、次に同じ単語が出てきた時に、自分が前に翻訳した言葉がわかれば統一感を持たせることが出来るとして、やはり訳語リストを作成している方もいました。

今後について

今後ですが、私はどうしても人と話すことが不得意なので、出版物を通して日中友好の懸け橋になりたいと思っています。将来的な夢になりますが、文学作品の翻訳、特に中国の現代文学の翻訳に取り組みたいと思っています。

ます。中国の現代文学を翻訳し、現代文学を通して多くの日本人に中国人の考え方などを知ってもらいたいと思っています。それだと、やはり生活していくことが大変です。そのため今は特許関連の需要が増えてきているので、特許関連をもう少し勉強して、翻訳文をチェックするという今の仕事から、一次翻訳をする仕事にレベルアップする事を目指し、今年から新たに勉強をはじめようと思っています。また、中国経済に関する翻訳をしているので、そちらの勉強もしていきます。

今中国語関連の仕事は、人材不足だと思います。今後東京オリンピックの影響もあるのですが、中国語が分かる人の仕事、翻訳や通訳などですが、圧倒的に足りないように思います。しかし、中国語の学習者はそもそも多くはありません。ですから、この仕事は現在は日本語の分かる中国人がほとんど担っています。しかし、日本人で中国語の出来る人が必要な場所もあります。ですから仕事はあります。中国語を使って仕事をしていく事は、今後自分がどのような生活をしていくかにもよりますが、中国語を使う仕事は沢山あるのではと思っています。

徐揚先生にとっても感謝している事があります。先生はよく授業の時に、「夢を追えば、お金は後から付いてくる」とおっしゃっていました。自分もその言葉に、そうだ！頑張ろうと励まされました。私の場合は、仕事もすでに退職して退路を断っていますから、何が何でも中国語を使って仕事をしていく覚悟なのです。徐揚先生のおっしゃる通り、自分の夢を持ち、色々な場所で、多くの人に夢を語っていたら、皆さんが卒業後も色々気にかけて下さって、色々な情報を提供してくださいました。卒業後すぐに、中国語で仕事をしていける機会は少ないと思いますが、それでも夢があれば大丈夫だと思っています。

これから中国語を学習しそれを仕事にしたいと思ってらっしゃる方へのアドバイスは、私は本科に在籍しているときから、もちろん今でもですが、「自分は翻訳家になる。それで生活出来なくてもとりあえず翻訳家になって、ダメだったらその後で、どうしようか考えよう」と思っていました。なので、まず「翻訳家になる！」という事は決めていました。収入のために仕事をするのならば、他の道があります。翻訳家になると決めたからには、他の道に眼を向けず、まずは自分の夢に向かって邁進する事が必要だと思っています。

別科(261期・2016年4月開講)のお申込みは3月1日(火)からです!

そろそろ、4月講座に向けて「今度はどの講座にしようかな…」とお考えの方もいらっしゃるかと思います。ここでは別科の制度を紹介したいと思います。

①授業の聴講できます!

開講中の別科講座は、基本的に今まで一度も在籍されたことのないクラスでしたら、ご見学頂けます。予約の必要はありませんが、授業の有無をご確認の上、授業開始前に窓口へお越しください。

②教科書を見ることが出来ます!

授業で使用しているテキスト、もしくは使用予定のテキストを事務局でご覧いただけます。お気軽にお越しください。

③割引があります!

長期間日中学院に在籍して頂いた方や、複数の講座を取られる方には割引があります。詳しい内容は、事務局にお問い合わせください。

④特別講座があります!

年2回(7、2月)の1日集中講座や、春と夏の短期集中講座があります。

講座へのご質問や、申込み方法などご不明な点などお気軽に事務室までお問い合わせください。

1月30日みなみりょうこ先生「中国結び」ワークショップ、2月6日陳淑梅先生「中国語の学び方、楽しみ方」講演会がそれぞれ日中学院で開催されました。どちらも多くの方にご参加頂きました。日中学院は創立65周年を迎え、多くの方々にご参加頂けるような中国語の講座はもとより講演会などを開催する予定です。開催が決まり次第学院報もしくは学内チラシその他、日中学院HP等でご案内します!

1月30日(土) みなみりょうこ先生
中国結びワークショップ 参加者25名



2月6日(土) 陳淑梅先生
講演会「中国語の学び方、楽しみ方」
参加者64名



《日中之间的“道歉的差异”》 竹内政徳

就横浜市大型公寓发生楼梯倾斜一事，实施地基打桩工旭化成公司董事长在记者会上低下头致歉表示：“对居住在全国各处楼房中的居民们陷入不安深表歉意”。

最近我常常在报纸和电视上看见日本大企业和政府干部在记者招待会上表示道歉。比方说，东芝财务造假丑闻、再如2020年东京奥运会主会场新国立竞技场建设总工程师费从当初的约1300亿日元增加了近2倍的问题。另外，还有2020年东京奥运会徽章跟比利时某剧场的标志“相似”的问题等等。他们在表示道歉时，站在桌子后面深深地施鞠躬礼。他们很注意自己的穿着和措辞，以此来表示诚意。

我们再看一下中国发生一些事故。比如，8月发生的天津爆炸事故和6月在长江武汉附近发生的“东方之星”号客轮翻沉事故。在记者招待会上参加的不是该公司干部而是地方政府干部。他们既没有发表事故的原因，又没有表示道歉。到现在为止，我们仍不知道事故发生的原因和责任所在，可是他们在九月份就早早发表要把天津爆炸事故的地方要修建成“生态公园”。这在日本是不可想像的。

我们日本人无论何地何事都会轻易地道歉。比如，打电话的时候我们会向手机鞠躬说“对不起”，问路时首先说的也是“对不起”。在商店买东西的时候也是一样，首先说“对不起”，然后说“我要某某东西”等等。

上述介绍的“道歉”之意不是对不起而是打招呼或者让对方注意的一种表现方式。用汉语来说就是“不好意思·劳驾·请问·麻烦您·谢谢”的意思。在日本的记者招待会上企业等干部所说的“歉意”，大概是两种意思。一种是他们承认错误，另一种是不好意思、麻烦你们的意思。在日本，道歉起“社会的润滑油”的作用。日本人无论与对方亲密还是不亲密都会主动道歉。不管对方是上司也好，部下也好，还是后辈也好，日本人都会比较平等地主动道歉。

而中国人不轻易道歉。他们常常说明自己的事情，主张正当的理由。他们不轻易承认自己错误。如果他们道歉的话，以后就得承担责任。可能我是孤陋寡闻，至今还没看到中国人说道歉的样子。

汉语的“道歉”和日语的“道歉”的意思不一样。日语的“道歉”是给对方添了麻烦、表示不好意思或者谢谢的意思。要是日本人对自己的行为承认错误，从心里有所悔悟，发誓重新做人。那时候会说：“我真对不起你！”

日中两国是一衣带水的邻邦。可两国的文化、习惯和思想却不一样。我们应该互相理解我们之间所存在的差异，彼此不要吹毛求疵指责对方，而应承认彼此的存在。

『日中間の「すみません」の違い』

横浜市の大型マンションが傾いた問題で、杭工事を施工した旭化成の社長が記者会見で「全国の建物にお住いの方々には不安を与え申し訳ありません」と頭を下げ陳謝した。

最近大企業や政府の幹部が記者会見で謝罪する姿がマスコミを賑わしている。例えば、東芝の不正会計問題、2020年東京五輪国立競技場建設費予算増加と同じく五輪エンブレム類似・盗用疑惑問題などがある。彼らは謝罪する時はテーブルの後ろ側に立ち深々と頭を下げる。服装や言葉遣いに注意を払い、精一杯の誠意を払う。

一方中国では、8月に天津爆発事故が発生し、6月には長江武漢近くで客船沈没事故が起きた。事故後の記者会見で出席したのは当該会社の責任者ではなくそれぞれの地区の市政府の幹部であった。彼らからは事故原因の説明はなく、また謝罪もない。現在に至っても私たちは事故原因も責任の所在もわからない。9月になり早々と天津爆発事故跡が「エコパーク」に生まれ変わると発表された。日本ではとても考えられぬことである。

日本人はいつでもどこでも簡単に謝る。例えば、電話している時とか道を尋ねる時「すみません」を言う。商店で買い物する時、最初に「すみません」と言ってから注文する。

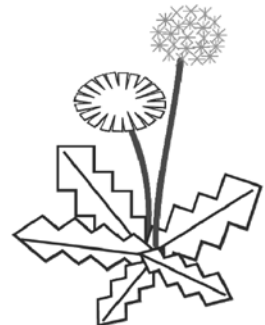
今述べた「すみません」は謝罪ではなく、挨拶とか注意を喚起する一種の表現方法である。言ってみれば中国語の（気を使わせて恐縮です、恐れ入ります、ご面倒をかけます、有難うございます）の意味である。

日本の記者会見で企業の幹部たちが使う「申し訳ありません」には二つの意味がある。一つは誤りを認める、もう一つはご面倒をかけて申し訳ありませんの意味である。日本ではこの「すみません」には相手との関係を円滑にする「潤滑剤」の機能を持っている。だから日本人は相手が誰であろうと気軽に使う。

それに対して、中国人は簡単には謝らない。彼らは自分の立場を説明し、正当であることを主張する。彼らは簡単には自分の誤りを認めない。もし彼らが謝罪した場合は、その後にはそれ相当の責任を負わなければならない。私は寡聞にして、中国人が謝罪している姿を見たことがない。

重複することになるが中国語と日本語の「すみません」は意味が違う。日本語の「すみません」は気を使わせて恐縮です、ご面倒をかけますとか有難うございますの意味である。もし日本人が自分の過ちを認め心から悔い改める場合は「本当にごめんなさい」と言う。

日中両国は一衣帯水の隣国同士である。しかし両国の文化・習慣や思想は異なる。私たちは両方に存在する違いを認め、お互いの欠点ばかりをあげつらわず、お互い存在を認め合おうではないか。



3月の日中学院

日	一	二	三	四	五	六
		1	2	3	4 ●本科最終授業 ●日本語科成績 発表/1年生 面接	5 ●本研授業最終日 ●別科公開講座 入門(13:00~)
6	7	8	9	10	11 ●本科成績発表	12
13	14	15 ●本科・日本語科 合同卒業式	16	17 ●本科3次入試 受付締切	18	19 ●本科3次入試
20	21 ●別科授業日/ 260期最終日 ●本科3次入試 発表/補欠募集 受付開始	22 ●春期集中講座 (~26日)	23	24	25 ●別科公開講座 入門(18:45~) ●補欠入試締切	26 ●本科補欠入試 ●別科公開講座 入門・基礎 (13:00~)
27 ●中国語検定試験	28 ●中国語検定試験	29	30	31		
●4月の日中学院 ・1日…別科公開講座(入門・基礎18:45~) ・2日…別科公開講座(入門・基礎13:00~) ・5日…本科・日本語科 入学式		・9日…別科公開講座(入門・基礎13:00~) ・11日…本科・日本語科・別科授業開始 本科・日本語科オリエンテーション ・15日…中国語検定受付開始		・28日…日本語科都内見学 ・29日…本科・日本語科・別科 休み (~5/5)		

【耳目】

○『日中友好岸関子賞』論文募集要項

(公財)日中友好会館は日本と中国の学術交流に貢献する人材育成のため、故岸関子氏の遺志のもと、『日中友好岸関子賞』を設立いたしました。岸関子氏は「満洲国」の日本人官僚の妻として激動の歴史を生きぬき、自らの体験から正しい歴史認識を伝えていくことの大切さ、「日中友好」の重要性を痛感し、自ら実践しただけでなく、その志を若い世代が継いでくれることを願っていました。

2013年より当会を設立、毎年一回、日本の大学あるいは研究機関で学ぶ中華人民共和国東北三省出身の留学生を対象に、彼らの提出した修士論文の中から優秀なもの1点あるいは2点を選んで表彰し、奨励金20万円を授与しています。本年も以下の要領で実施いたしますので、どうかふるってご応募ください。

主催 - 「第4回日中友好岸関子賞」審査委員会

論文応募の詳細は以下のとおりです。

- ・募集対象 - 中華人民共和国東北三省(遼寧・吉林・黒龍江)からの留学生に限る。
- ・各年度末において日本の大学の修士論文学位審査に合格した人文社会科学系の論文を対象とする。
- ・締め切り - 2016年4月30日(土) ※当日消印有効

※提出書類など詳しい内容については、下記までお問い合わせ下さい。

・問い合わせ先 担当:(公財)日中友好会館 沼崎

Tel 03-3814-1261 E-mail: kourakuryo-k@jcfcr.or.jp

○おめでとうございます!

本年度通訳案内士試験において日中学院より3名の方が合格されました! 2月10日(水)に通訳案内士試験の合格発表があり、全国で86名の方が合格しました。

合格された皆様のご活躍をお祈り致します。

○3、4月の無料公開講座

- ①3月5日(土) 13:00 ~ 15:00
入門コース
- ②3月25日(土) 18:45 ~ 20:45
入門コース
- ③3月26日(土) 13:00 ~ 15:00
入門コース・基礎コース
- ④4月1日(金) 18:45 ~ 20:45
入門コース・基礎コース
- ⑤4月2日(土) 13:00 ~ 15:00
入門コース・基礎コース
- ⑥4月9日(土) 13:00 ~ 15:00
入門コース・基礎コース
- ⑦3月28日(土) 10:00 ~ 12:00
新聞、インターネット【論説】読解力養成講座(講師:三瀧正道)
ご希望の講座をお電話などでお申し込みください。

①~⑥…日中学院が初めての方

⑦…在校生もお申込み頂けます。